

会 議 録 (1)

会議の名称	平成27年度 第2回入間市文化財保護審議委員会
開催日時	平成27年11月12日(木) 午後1時30分開会・午後3時00分閉会
開催場所	入間市博物館 会議室
議長氏名	㊦枝窪 邦茂
出席委員(者)氏名	㊦枝窪 邦茂 ㊧鹿島 英明 田代 甲平 渡邊 久芳 法隆 康一 大館 勝治 柳澤 かほる 林 宏一 梅津 久昭
欠席委員(者)氏名	大河内 隆敏
説明者の職氏名	博物館副主幹 大久保 卓 同主任 齊藤祐司 同主任 工藤 宏 同主事 長谷川奈美
会議次第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 挨拶 3 議 題 (1) 諮問事項の検討について (2) その他 4 報 告 5 その他 6 閉 会
非公開理由	
傍聴者数	0人
配布資料	平成27年度 第2回入間市文化財保護審議委員会資料
事務局職員 職 氏 名	・生涯学習部部长 福田 光嘉 ・生涯学習部次長 新見 輝明 ・生涯学習部博物館館長 西勝 啓祐 ・博物館副館長 水村 章一 ・同副主幹 大久保 卓 ・同主任 齊藤 祐司 ・同主任 工藤 宏 ・同主事 長谷川 奈美
会議録作成方法	筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項	
議 題	<p>4 議 題</p> <p>(1) 諮問事項の検討について 指定文化財の新規指定について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 久保稻荷神社の狐塚及び手水鉢・ 西久保家旧蔵古今雛・ 木造千手観音菩薩立像・ 千日回向名号塔 <p>(2) その他</p>
決 定 事 項	<p>4 議 題</p> <p>(1) 諮問事項の検討について 指定理由書の内容について検討を行ない、第3回委員会までに今回の検討内容をふまえて再度理由書を作成する事になった。</p> <p>(2) その他 西洋館と旧黒須銀行の活用プランについて、それぞれの建物を一体として文化財の活用を考える。整備にあたっては、文化財的価値を踏まえ、昔の状態に復元する部分と活用しやすく改修する部分に分けて考えていく。</p>

会 議 録 (3)

発言者	発言内容
	<p>4 議 題</p> <p>(1) 諮問事項の検討について</p> <p>事務局 ○ 前回の委員会で出たご意見をもとに指定理由書に変更を加えましたので、ご意見をお願いします。</p> <p>委員長 ○ はじめに「久保稲荷神社の狐塚及び手水鉢」の指定理由書について意見をお願いします。</p> <p>委員 ○ 3行目、「参拝者が集まり奉納された」と書くと、ただ集まった参拝者によって奉納されたように見えます。当時、信仰でにぎわっていた様子が表現できていないと思います。</p> <p>委員 ○ 信仰が篤かったから奉納された訳ですね。</p> <p>事務局 ○ 表現を検討します。</p> <p>委員 ○ 1行目に分霊されたとありますが、どこから分霊されたのか分かっていれば入れた方がいいと思います。</p> <p>事務局 ○ 京都府の伏見稲荷大社ということが分かっています。</p> <p>委員 ○ 14行目に「白狐細工人」という文言がありますが、こういう専門職がいたのでしょうか。</p> <p>委員 ○ 碑文に書いてある言葉をそのまま使ったのでしょうか、一般的な言葉ではありませんね。</p> <p>事務局 ○ 専門職はいませんので、「白狐細工人」は削除します。12行目の「東京都新宿区」は「現東京都新宿区」の誤りです。</p> <p>委員 ○ 最後の段落は、2行目までで文化財的価値を述べていますが、「とともに」とつなげることによって意味がぼやけてしまいます。ここは文を分けた方がいいと思います。また、全体的に一文の中に詰め込み過ぎてわかりづらいところがあります。</p> <p>事務局 ○ ただいまのご意見をもとに、理由書を修正します。</p> <p>委員長 ○ 「西久保家旧蔵古今雛」の指定理由書について、意見をお願いします。</p> <p>事務局 ○ 前回、修復した人の名前を入れた方がよいのではないかというご意見がありましたが、他の理由書を見ても修復した年の記述にとどまっているため、情報としては大事ですが、指定理由書の中には入れないこととしました。</p> <p>委員 ○ 14行目に「黒台」とありますが、これは雛人形における固有名詞なのでしょうか。</p> <p>事務局 ○ 確認します。</p> <p>委員 ○ 文中に文化財的価値についての記述が何度も出てきますがいささかしつこく感じます。もう少し整理してはどうでしょうか。最後の一文は、「評価される」という表現を使うのもよいと思います。下から3行目「階層が判っている」は「階層が明らか」にした方がよいと思います。</p>

会 議 録 (4)

発言者	発言内容
委員	○ 全ての理由書の表現について「(現在の〇〇市)」は「現〇〇市」に統一した方がよいと思います。
事務局 委員	○ ご指摘の点については修正します。 ○ 種別については、雛人形は有形民俗文化財として指定することが多いですが、今回、有形文化財として推薦しました。当時の形式を証明するもので、品質も良いので、有形文化財とするのがいいと思いますが、皆様のご意見はいかがでしょうか。
委員	○ 所有者の階層がわかっており、普通より階層が上の人が持っていたことから見ても有形文化財の工芸品でいいのではないのでしょうか。
委員	○ 禁令を破っている大きな雛人形であることから見ても、高価な雛人形であったと見られます。
委員長 一同	○ 種別は有形文化財の工芸品ということでよろしいですね。 ○ 異議なし
委員長	○ 次に、「木造千手観音菩薩立像」の指定理由書について、意見を申し上げます。
委員	○ この理由書は、原案を私が書いたこともあり、いくつか直しをお願いします。まず、員数の単位は「一躯」としてください。2行目の文は「中央の合掌手と宝鉢手に脇手三十八手を加え四十二臂を数える千手観音菩薩像である」としてください。また、4行目「一木造」ではなく「割矧ぎ造り」、7行目「前後に割り矧ぎ、」以下を「前後に割り矧いで、内割りを施している」としてください。12行目「長慶によって造られた」は「長慶によって再興した」としてください。
委員	○ 「再興した」という表現はあるのですか。
委員	○ 中世では、建物と同じように「再興」という言葉を使います。
委員	○ 長慶という仏師の生没年は分かっているのでしょうか。通常は人物については生没年を併記するのですが。
委員	○ 残念ながら、長慶の作はこれと慈光寺のもの2作しか残っていません。生没年もわからず、この時代に仕事をして、作風から鎌倉仏師であるということしかわかっていません。
委員	○ 「三道かなり下で」は「三道のかなり下で」とした方がわかりやすいのではないのでしょうか。
委員	○ 19行目「当時の仏像の特徴といえるかもしれない」という曖昧な表現は指定理由書の中ですべきではありません。曖昧にしか言えないのならばこの文は削除した方がいいと思います。また、体部が簡素だと説明をしなければならぬのならば、文化財としてふさわしいのか疑問に思いました。
委員	○ この段落を削除してはどうでしょうか。
事務局	○ 体部の造りが簡素である記述については、本像の特徴を述べているので入れるべきだと考えます。体部が簡素であっても頭部の精緻さや由来

会 議 録 (5)

発言者	発言内容
委員	<p>から文化財的価値は高いものと判断されます。</p> <p>○ 頭部が丁寧で、体部が簡素なこの時代の仏像は、他にも例があるというのは間違いありません。他にも例があるという文は残した方がいいと思います。</p>
委員 委員	<p>○ 当時の仏像の特徴の一つである、という表現もあります。</p> <p>○ この特徴が仏像の価値に対してマイナスに作用するのではなく、当時の仏像が持ついろいろな特徴の一つとして前向きに捉えるのがいいと思います。</p>
委員長	<p>○ 次に、「千日回向名号塔」の指定理由書について意見をお願いします。</p>
事務局	<p>○ 文化財の名称は「千日念仏供養塔」の方がいいのではないかとご意見をいただき検討しましたが、市内唯一の名号塔であるので、名号塔という名称の方が特徴を言い表していると考えました。また、人数や村数については、再度碑文を確認し、一部読めない箇所があるので人数には「約」を付けてあります。前回のご意見を受けて、全体的に文章を直しています。</p>
委員	<p>○ 種別は、有形民俗文化財となっていますが、有形文化財の歴史資料としてもおかしくありません。これは今までの指定の例にならうのでよいと思いますが。</p>
事務局	<p>○ これまでの入間市の指定では、信仰を表すものは「有形民俗文化財」としています。「上藤沢の六道地蔵」は有形民俗文化財です。板碑は有形文化財の考古資料です。</p>
委員 事務局	<p>○ 現在も信仰が続いているのでしょうか。</p> <p>○ 名号塔については不明です。「上藤沢の六道地蔵」は、当時の愛宕信仰とは違っていますが現在も交通安全の御利益があるなど、信仰されていると言えます。他の事例とも比較し、検討します。</p>
委員	<p>○ 7～8 行目、「念仏供養が催され」は「念仏供養を行ない」でよいと思います。</p>
委員	<p>○ 受身表現が多用されていますが、この念仏行事は碑面の人々が自主的に行なったと考えられますので、「された」ではなく「した」と言いきってよいと思います。2 行目の「呼ぶが」は「呼ぶ。」で切ってください。また、文化財の名称については、他市でよく年号を入れているように、「延宝九年銘千日回向名号塔」としてはどうでしょうか。指定理由の中でも、近隣でも石工の名が残る石造物として最古であり、そこに文化財的価値があるとしています。名称に年号がついた方がわかりやすいと思います。</p>
委員 事務局	<p>○ 7 行目の「極楽浄土」は「極楽往生」が正しいと思います。</p> <p>○ 次回までに検討し、直したものを提案します。</p> <p>(2) その他</p>

会 議 録 (6)

発言者	発言内容
<p>委員長 事務局</p>	<p>○ その他として事務局から何かありますか。</p> <p>○ 現在事務局で検討中である西洋館と旧黒須銀行の活用プランについてご意見をお願いします。資料の6ページにある活用プラン相関図のように、それぞれの建物単独ではなく、一体として文化財の活用を考えていきます。整備にあたっては、文化財的価値を踏まえ、昔の状態に復元する部分と活用しやすく改修する部分に分けて考えます。</p> <p>西洋館では、本館は米軍による改造を受けつつも当時の姿を多く残し、現在は国登録有形文化財ですが、国指定となる価値があると思います。別館は米軍の接収をはじめ度重なる改造を受けており、当初の設計図もありません。このため、本館は昔の状態への復元を中心に考え、別館は活用しやすいようキッチンやトイレを改修します。活用については、現在行っている映画やCM撮影のための貸出のほか、今後はコンサートや展覧会の会場とすることや、訪れた方が一息つける湯茶や菓子の提供等を考えています。また、庭園をより魅力的に整備していきたいと思っています。</p> <p>旧黒須銀行では、正面側はできるだけ昔の姿に近づけるようにし、1階をギャラリーや休憩所として使い、裏側はトイレや水道など使いやすいうように改修する案としています。また、観光案内コンシェルジュのような、市内の文化財や観光名所を案内できる人材を養成し、その詰所として活用します。この案についてご意見をお願いします。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>○ 観光など他部局との連携は考えていますか。</p> <p>○ 観光担当課や企画課へもこの活用計画を持って連携を考えていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>○ これまでの指定文化財の新規指定、調査研究によって入間市の文化財についてわかってきています。文化財をめぐるコースや休憩場所を作り、文化財の見学や寺社の拝観をしながら歩き、文化財の普及と合わせて健康づくりもできたらよいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>○ 旧黒須銀行については、昔の状態への復元を少しずつでもやっていくべきだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>○ 文化庁の補助金など、ハードに使えるお金は難しいですが、ソフト面では使えるものもあるので、アンテナをはってうまく利用できればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>○ 動かなければ何事も実現できませんから、ぜひ積極的に活用してください。</p>
<p>委員長 事務局 事務局</p>	<p>○ では、議題の審議が終わりましたので、司会をお返しします。</p> <p>○ 事務局より報告があります。</p> <p>○ 斉藤家のドウダンツツジについて樹勢回復事業を昨年度と今年度、行なっております。しかし、まだ樹勢の回復が確認できるようにはなって</p>

会 議 録 (7)

発言者	発言内容
事務局	<p>おりません。来年度以降は、所有者の負担もあるので市が主体となって樹勢回復事業を継続し、2年間実施した後にまた樹勢の状況を見て判断したいと思います。</p>
事務局	<p>○ 市指定有形民俗文化財の志茂町屋台でシバンムシの虫害が発生しています。シバンムシは古材を好む文化財害虫です。駆除について検討中です。</p>
事務局	<p>○ 文化財防火演習を平成28年1月30日に熊野神社で実施する計画です。また、ご案内をお送りしますのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>○ 今年度第3回の審議委員会は2月または3月に行う予定です。</p>

事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

議 長 の 署 名 _____

議長が指名した者の署名 _____